

## 施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	地域コミュニティの醸成支援
概要	<p>少子高齢化の進展・働き方の変化等から、地域活動の人材が不足し、地域コミュニティの維持が難しくなっている地域が出てきています。</p> <p>そのため、子育て世代や元気な高齢者等、全ての世代がコミュニティ活動に参加しやすく、安全・安心に住み続けられるコミュニティの醸成を支援します。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	町民活動創出支援事業 (No.73)	1	84.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	事業費補助方式の検討 (No.74)	1	-	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	地域コミュニティ支援事業 (No.77)	1	98.8	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	地域間交流事業 (No.78)	1	35.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	ボランティア活動支援事業 (No.79)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)							
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民活動団体の活性化、自立を図るための補助制度の周知</li> <li>・ボランティア団体等の支援、サポートセンターの利用方法の見直し</li> <li>・地区割の見直し</li> </ul>
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	地域コミュニティ醸成支援のため、各事業の進捗は順調である。課題である地域活動の人材不足や地域コミュニティの維持については、地域や地域外の人とのつながりを築きつつある一色小学校区地域再生協議会を課題解決のためのモデルとし検証しながら、他の地区についても、既存の地区の枠組みを超えた地域の中で、誰もが参加しやすいコミュニティを醸成する方法を検討していく必要がある。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	地域コミュニティの醸成を図るためには、地域と町が現状と課題を共有し、共通の認識を持ったうえで、住民を主体として地域の活性化の機運を醸成する必要がある。また、人口減少・少子高齢化による担い手不足を解消するには、地区の枠組みについても研究する必要がある。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持       ②改善して町が実施       ③改善して町以外が実施       ④要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、地域コミュニティの醸成支援は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいる。

今後さらに推進するために、町民の主体的な活動の現状と課題を、しっかりと分析した上で、住民とともにコミュニティのあり方を検討し、地域コミュニティ醸成への機運を高めていく必要がある。また、地域活動が持続的に行えるよう、引き続き町も支援していくことで、地域コミュニティの活性化に繋げていく。